

CMSC青森 5月24日  
CMSCジムカーナin青森

# 10年のキャリアで余裕の進行。

1998年7月に第1回CMSC青森ジムカーナ練習会を開催以来、公式戦26回、練習会2回と28回の開催を数えるCMSC青森のジムカーナ。今年第1戦はJMRC北東北シリーズ第2戦として、新緑が目に優しい岩木山麓にある岩木山スキー場駐車場で開催しました。10年間ジムカーナの開催を続けてきましたが、第1回の練習会ではわずか60台だった参加台数も、回を重ねた今回は過去最高の93台を数えました。当クラブ、ジムカーナのリーダーである小館久を中心に、レギュレーションの作成、発送、受付開始、会場の清掃等事前準備も順調に進み、当日を迎えました。

コースの設定は、若手のホープ久保田明が担当。セッティングの良さもありミスコースも少なく、参加者にも好評でした。競技運営は出走台数を考え、競技車2台をコースへ入れ走行させタイムロスを少なくし、予定通りのタイムスケジュールで競技終了。表彰式もたくさんの賞品を前にシャンペンシャワーを行うなど、和やかな雰囲気うちに終ることができました。

また、今回CMSC本部より久々に外川会長を迎え、クラブ員との懇談



久保田氏によるコース説明（左）と岩木山をバックの記念撮影。



やモータースポーツ談議にと、楽しい一日を過ごすことができました。多くのクラブ員やご支援頂いております皆様のご協力を得ながら、これからも身近な楽しめるモータースポーツを続けていきたいと思っております。全国のCMSC会員の皆様、ぜひ一度青森へお越し下さい。お待ちしております。（CMSC青森 鶴ヶ谷慶市）



本部席での鶴ヶ谷会長（右）、外川会長（中）須賀氏（左）と。

CMSC群馬 4月29日  
CMSC群馬トライアルin那須

# レディースクラス新設。参加者募る。

CMSC群馬主催のダートトライアルは'98JMRC群馬ダートトライアルシリーズの開幕戦として、4月29日に丸和オートランド那須にて開催いたしました。車両規定変更のため、吸・排気系、エアスクープ、スポイラーなどの変更車両が多く見られました。また今シーズンより、群馬シリーズにレディースクラスができましたが、1台のみの参加と少々寂しい状態でしたので、今後女性ドライバーの方も多く参加していただきたいと思えます。

当日は祝日ということもあり、参加台数76台と若干少ないエントリーでした。毎年、CMSC群馬のイベントは天候が悪いのですが、今年は絶好のダート日和でした。コースは前半ハイスピード、後半テクニカルというメリハリが必要なコース設定でしたが、競技はスムーズに進行。エントラント、オフィシャルともトラブル無く、午前中には競技終了、午後1時には閉会式終了と、エントラントの皆様も早く帰宅ができたと思われます。最後になりましたが、開催にあたり協賛していただいたスポンサー各位、エントラント、オフィシャルの皆様、大変ありがとうございました。

(CMSC群馬 大谷昌弘)



岩田選手によるコースクリア（上）。開会式の模様（上右）とF2クラス表彰式（右）。



CMSC栃木 5月17日  
スリーダイヤモンドジムカーナ

# 来場者、皆が楽しめるイベントを。

このたび'98スリーダイヤモンドジムカーナを主催しました。今回の参加台数は74台。多少ではありますが例年より台数も増え、クラブ員と競技参加者が共に協力し、非常に盛り上がりのある競技会を開催できました。

5月17日当日は朝から雨。クラブ員、参加者とも受付や競技準備に時間がかかり、予定スケジュール通り進行できるかどうか心配もありましたが、予定より15分遅れの午前9時15分より競技を開始することができました。初心者向けコースではありましたが、ハイスピードコースを設定したため、雨でのウェット路面に大半の競技者が四苦八苦しているようで、予想タイムよりも約10秒程遅れた記録しか出ないまま午前の部を終了。昼休みを利用し、我がクラブのスーパー耐久レース用ランサーVを使用しているタイヤ交換やドライバーチェンジ等のアトラクションを行いました。普段は実際に見ることのできないピット作業の様子に競技参加者および観客も興味を示していました。

午後には雨も上がりコースはドライとなり、競技者も午後の部に勝負を賭け、タイムを競いました。ベストタイムは1分こそ切れなかったものの、ほとんどの競技者が午前とは比べものにならないすばらしいタイムを出すことができました。

大きなトラブルもなく無事終了。参加者全員に賞品が渡るように考えたジャンケン大会や参加賞、そして恒例のアイスクリームの配布も好



下谷選手の走り（上）と三菱賞の表彰式（下）。

評で、来場した全ての人々が楽しめるイベントになったと思います。モータースポーツの動員数が増えていくよう、今後もクラブ一丸となり企画をし、努力していきたいと思っております。初心者入門用のこのイベントを今後も続けていくつもりです。（CMSC栃木 川口法行）



CMSC島根 5月31日  
CMSC島根チャレンジカップジムカーナ

# 気分は全日本!超高速バトル!

全日本ジムカーナ選手権が一週間後、同じ会場で行われるため、ここ岡山県備北サーキットには中・四国・近畿のトップドライバー10数名を含む83台が集結し、炎暑の下、熱い戦いが展開されました。特にコースは、タイムスケジュールが遅れるほど入念にコース査察・安全対策を施した、このコース始めて以来の(当クラブ調べ)超ウルトラハイスピードコース。テクニックと車のコンディション、それをコントロールするドライバーのソフトウェア(経験値と理性)の高度なバランスが要求されました。トライは限界で走るトップドライバーばかり続々コースアウト・脱輪という、



全日本選手も大挙、出場。(写真は谷森選手)



予想通りの大番狂わせ(?)の展開となりました。しかし、2トライ終わってみれば「お約束」の順位に落ち着き、その学習能力の高さには感心させられました。しかも壊れた車はクラブ員の3台だけというオチつきです。中でもJAFカップ3位男、アドバングABランサーを駆る谷森雅彦選手の異次元の走りには、オフ

シャル、エントラント総立ちで魅了させられました。最後に、ちょうど届いたばかりの全日本戦用豪華表彰台をちゃっかり借用して、近年まれにみるデラックスな表彰式になったのは、涙なくて語れません(笑)。(CMSC島根 古藤浩美)

CMSC福島 5月17日  
ダイヤスタージムカーナ

# 3年ぶりの地区戦主催に天の助け?

B地区シリーズ第3戦「CMSC福島ダイヤスタージムカーナ」はCMSC福島としては、3年ぶりの地区戦主催となりました。レギュレーション作りからJAFの申請など、久々の作業の面倒さに、仕事もそっちのけでほとんど大会準備に明け暮れること10日間。そして大会当日の朝、外は雨。暗〜い気分で会場のSSパークへ。クラブ員30名と、まずはミーティング

を行い、いざ雨の中へ。と思いきや、天の助けか雨が止み、空も明るくなってきました。これで全員気分良くオフシャルができるようになり、CMSC福島ならではの行き届いた(?)大会運営で、無事終わることができました。クラブ員一同ほっとした一日でした。ただ、当日朝の雨でのカメラトラブルにより、写真が撮れなかったことが残念です。(CMSC福島 須田行雄)

CMSC香川 4月19日  
CMSCアストロトリアル

# 車両規則変更が影響。



AIIIクラス三木選手の走り。

四国地方選手権第3戦「98CMSCアストロトリアル」を香川スポーツランドにて主催しました。今回のエントリー台数は54台と非常に少ないものでした。四国の場合、車両規則が変更になった年はいつも、参加台数がガタッと減ってしまいます。

さて、我がクラブ期待の星、AIIIクラスの三木利夫選手は今回は3位でしたが、シリーズチャンピオンを狙ってがんばって欲しいと思います。(CMSC香川 白井 修)

'98チャレンジカップ

# 大阪、ダートラでポイントゲット。全開のスタート。

さあ始めました'98チャレンジカップ。大阪が秋間・小出コンビの活躍でポイントを大量ゲット。スタートから飛ばしています。個人部門は有力どころと新しい名前が入り交じっています。ゴールはまだ先。頑張ってください。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
大阪	909				909
福島	810				810
道北	522				522
広島	418				418
札幌	358				358
山形	319				319
浜松	295				295
香川	262				262
帯広	256.5				256.5
青森	253				253
島根	216				216
栃木	213				213
鹿児島	182				182
岐阜	162				162
岩手	115				115
埼玉	77				77
秋田	66				66
仙台	40				40
群馬	25				25
愛知	21				21
千葉	0				0

●ラリー・ドライバー部門

選手	所属	ポイント
鎌田 豊	道北	140
杉山 聡	道北	104
鷹野健太郎	道北	85
奴田原文雄	札幌	84
山口 修	鹿児島	72
中尾 晃	鹿児島	60
三苫和義	鹿児島	50
豊嶋郁雄	道北	32
二野下幸夫	広島	31

●ラリー・ナビゲーター部門

選手	所属	ポイント
川村知恵	道北	85
中村洋次	帯広	80
内藤修一	道北	52
梶山 剛	広島	31
山地英樹	香川	24
安藤朋司	岐阜	24
本島正和	浜松	20
神高 浩	香川	16
岩見浩紀	道北	12

●ダートトリアル部門

選手	所属	ポイント
秋間忠之	大阪	280.5
小出久美子	大阪	247.5
宝田芳浩	札幌	244
河内 涉	広島	190
藤原雄一郎	大阪	176
赤羽政幸	栃木	144
吉村 修	大阪	120
大泉 剛	福島	115
湯本 敬	山形	104
谷津良嗣	福島	104

●ジムカーナ部門

選手	所属	ポイント
工藤裕史	青森	130
宇野慶一	青森	97
高野 聡	福島	79
平山敦朗	浜松	76
渡辺 弘	福島	70
佐藤義隆	福島	60
須田行雄	福島	44
三崎朋弘	帯広	35
青沼達也	帯広	30
遠藤昌利	札幌	28

●レース部門

選手	所属	ポイント
小川日出生	山形	94
エド・ムラサキ	山形	66
高橋しげる	仙台	40
川口法行	栃木	20
添田 正	栃木	20
木下アキオ	山形	12

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A=全日本選手権(含むレディースクラス)  
地方選手権(除くレディースクラス)  
全海外FIA, ASN公認競技  
但し、ラリーには各地区の最上級シリーズ  
ダートトリアルにはオールスターダートトリアル  
ジムカーナにはJAF CUP'Sジムカーナ  
レースにはミラージュカップ、スーパーN1耐久シリーズを含む  
B=それ以外の競技会